

## 令和元年度中国地方建設技術開発交流会 開催方針(案)

### 1. 開催目的

産学官の新技术・新工法等の普及、活用を図るための技術交流を目的として開催する。  
技術者をはじめ、一般住民も含めた多くの聴講者が建設技術の情報を共有しやすい場とする。

### 2. 開催方針

#### (1) テーマ

【メインテーマ】 安全・安心で豊かな暮らしの実現を目指して

【サブタイトル】 社会資本の戦略的なメンテナンスと生産性向上及び  
防災・減災への取り組み

【発表テーマ】 「大規模又は広域的な災害リスクの低減に向けて」  
「社会資本の戦略的インフラマネジメントによるストック効果の最大化」  
「i-Construction の更なる推進」  
「建設現場におけるAI技術の活用に向けて」

#### (2) 開催時期

10月～11月の開催で調整する。(前年と同様)  
(他のイベントと日程が重ならない事が好ましい。)

#### (3) 開催場所

中国地方5県で開催する。  
来場しやすい会場を選定する。(前年度の会場を参考に)

#### (4) 基調講演

大学・工業高等専門学校教員による講演を行う。  
講師については、開催県からの推薦とする。

#### (5) 発表課題

発表課題については、下記の点を考慮して依頼・選定を行う。

- ・ 発表テーマに沿った内容のもの
- ・ 話題性のあるタイムリーな内容のもの
- ・ 中国地方や開催県に関連した地域性のある課題
- ・ テーマ・発表団体に片寄りが無いようにバランスを考慮
- ・ 単なる宣伝にならないよう、開発経緯・問題点・施工結果・効果等を盛り込む

#### 発表課題① 学官技術発表(2課題程度)

- a) 学校関係、中国地方整備局及び地方公共団体による建設技術に関する研究開発・計画・施工例・効果等の発表を行う。
- b) 中国地方整備局及び地方公共団体等で活用された新技术・新工法の活用成果の

発表を行う。新技術を採用した経緯、施工中の問題点及び解決方法、施工後の追跡結果等を踏まえた内容とする。

発表課題② 技術開発支援制度による開発技術(1課題程度)

(一社)中国建設弘済会による技術開発支援制度助成課題の成果発表を行う。

発表課題は、中国建設弘済会からの推薦とする。

発表課題③ 民間技術発表(3~4課題程度)

民間による建設技術に関する発表を行う。発表課題の選定については、民間団体からの推薦課題の中から事務局が選定を行う。

(6) 特別発表(1課題)

テーマに即した「地域特有の課題」、「最新の情勢や技術所見に応じた課題」または「より実践的な課題」等について発表を行う。発表課題及び講師は、該当の県・市と調整のうえ、事務局が選定する。

なお、特別発表は午前中からの開催の会場について行う。

(7) 発表数と時間

タイムスケジュールは、下表(表-1:午後から開催の場合、表-2:午前から開催の場合)を基本とするが、提出された課題によっては、発表課題数や時間を変更することも考慮する。

また、会場の都合等で、表-2での開催が難しい場合は、表-1での開催とする。

《表-1》

項目	課題数	発表時間	タイムスケジュール
開会挨拶		5分	13:00 ~ 13:05
基調講演	1課題	50分	13:05 ~ 13:55
休憩		15分	13:55 ~ 14:10
発表課題	3課題	各25分(質問、入替含む)	14:10 ~ 15:25
休憩		15分	15:25 ~ 15:40
発表課題	3課題	各25分(質問、入替含む)	15:40 ~ 16:55
閉会挨拶		5分	16:55 ~ 17:00

《表-2》

項目	課題数	発表時間	タイムスケジュール
開会挨拶		5分	10:00 ~ 10:05
基調講演	1課題	50分	10:05 ~ 10:55
特別発表	1課題	50分	10:55 ~ 11:45
休憩		60分	11:45 ~ 12:45
発表課題	3課題	各25分(質問、入替含む)	12:45 ~ 14:00
休憩		15分	14:00 ~ 14:15
発表課題	4課題	各25分(質問、入替含む)	14:15 ~ 15:55
閉会挨拶		5分	15:55 ~ 16:00

### 3. その他

#### (1) CPD(継続学習制度)プログラム

建設系CPD協議会に属する団体の所属会員を対象に、CPDプログラム認定を行う。(継続)

CPD プログラム認定を取得する団体を、例年CPD単位取得者数が多い「全国土木施工管理技士会連合会」及び「(一社)建設コンサルタンツ協会」とし、その他の団体については、CPD単位の相互承認制度を活用していただく。相互承認制度を実施していない団体は、個別にCPDプログラム認定の取得を行う。(昨年度と同様)

#### 建設系 CPD 協議会加盟団体のうち、個別にCPDプログラム認定の取得が必要な団体

- ◆ (一社)全国土木施工管理技士会連合会
- ◆ (一社)建設コンサルタンツ協会
- ・ (一社)全国測量設計業協会連合会
- ・ (公社)日本建築士会連合会
- ・ (一社)全日本建設技術協会

◆:CPD 受講者数が例年多数

#### 建設系 CPD 協議会加盟団体のうち、CPD 単位相互承認が可能な団体

- ・ (公社)空気調和・衛生工学会
- ・ (一財)建設業振興基金
- ・ (公社)地盤工学会
- ・ (一社)森林・自然環境技術者教育会
- ・ (公社)土木学会
- ・ 土質・地質技術者生涯学習協議会(事務局:(一社)全国地質調査業協会連合会)
- ・ (一社)日本環境アセスメント協会
- ・ (公社)日本技術士会
- ・ (公社)日本造園学会
- ・ (公社)日本都市計画学会
- ・ (公社)農業農村工学会
- ・ (一社)交通工学研究会
- ・ (一社)全国上下水道コンサルタント協会(個別審査)

## (2)主催・共催団体

### 主催：

中国地方建設技術開発交流会 実行委員会 構成団体

鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県，岡山市，広島市，国土交通省中国地方整備局，  
(公財)鳥取県建設技術センター，(公財)島根県建設技術センター，(公財)岡山県建設技術センター，  
(一財)山口県建設技術センター，中国土木施工管理技士会連合会，建設業協会中国  
ブロック協議会，(一社)中国建設弘済会，(一社)日本建設業連合会，(一社)日本道路建設業  
協会，(一社)日本橋梁建設協会，(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会，(一社)建設コ  
ンサルタント協会，(一財)日本建設情報総合センター，(一社)日本建設機械施工協会，中国コ  
ンクリート製品協会，(一社)日本鉄鋼連盟，(一社)全国特定法面保護協会，(一社)日本造園建  
設業協会，(一社)全国道路標識・標示業協会，(一社)建設電気技術協会，(一社)日本埋立浚  
渫協会，

事務局：国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

### 共催：

(公社)土木学会中国支部，(公社)地盤工学会中国支部，(公社)日本技術士会中国本部

### 後援：

(公社)日本コンクリート工学会中国支部

## 令和元年度 中国地方建設技術開発交流会 開催日程【予定】

開催日	開催県	開催場所
10月15日(火)	山口県会場	山口県健康づくりセンター (山口市吉敷下東 3-1-1)
10月29日(火)	広島県会場	広島県民文化センター (広島市中区大手町 1-5-3)
10月31日(木)	岡山県会場	山陽新聞さん太ホール (岡山市北区柳町2-1-1)
11月6日(水)	鳥取県会場	倉吉未来中心ホール (倉吉市駄経寺町 212-5)
11月12日(火)	島根県会場	くにびきメッセ (松江市学園南 1-2-1)